

SSKP はばただより vol.130

おいしい給食！楽しみだね

助成金で厨房機器を購入しました！

お祝いの会のお寿司ケーキ！
すごいでしょ！



新しい機器ではかどります！



はばたけの給食、おいしいのよ！

アクティビティセンターはばたけでは、このたび 公益財団法人 出光文化福祉財団 から、平成27年度助成金の交付を受けて、厨房設備の整備事業を完了いたしました。ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人 出光文化福祉財団をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。大切にに使わせていただきます。



小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



また春の心地よい季節がやってまいりました。みなさんお花見には行かれたか？

野ざきの家では3月29日、ルーテル学院大学に毎年恒例のお花見に行ってきました。開花予測と天気予報のにらめっこは今年も変わらず…。ヤキモキしながらの当日を迎えました。今年で 回目とのこともあり随分段取りは良く安心して皆様をお連れすることが出来てきていると思います。今年もボランティアの参加もあり楽しい時間を過ごすことができました。が、、、なんと桜は三分咲き…。という少し残念な桜の状況でした。しかし、風は無く、気温は過ごしやすく楽しくお弁当を食べられました。

「桜を見ると故郷を思い出したり、子どもの入学式を思い出すなあ。」としみじみ。色んな記憶が薄れていくなかで桜を見ただけで次から次へと昔の思い出が溢れてくる。人間の脳は高性能でいつまでも保たれているものなんだと改めて思いました。そんな季節の花や場所、人を取り巻く環境が人の生活の基盤にあって生活が成り立っているのだなと。どうしても歳をとったり障がいを負って人の支援が必要となっても、支える人が必要としている方の「良い環境」となって支えることで誰もが生活しやすい社会の実現が可能と思っています。

少ししんみりとしてしまいましたが、お花見の時間はホントに楽しかったです。皆様にテーブルを囲み職員も一緒になってお弁当を食べながらノンアルコールビールをお注ぎして…。「あんたたち、いつも色々やってくれるからこれくらいさせてよ！」と注いでもらったり。そんな何気ないやりとりに感じますが、お一人で生活されている方やご主人を先に亡くされた方、今まではご自宅でやっていたであろうことがいつの間にか時間の流れ、環境の変化で失っていく…。人生ではありますがこの様な機会に少しでも昔の楽しかった記憶や出来事を経験できる機会があれば、一役買っ出るのも支援者として大切にしたい部分であると思います。

そんな楽しい時間はあっという間。最後は皆様に記念撮影。ある方が「来年もみんなで来ましょう。誰も抜けちゃダメよ！」と言って、皆様がとびきりの笑顔になったことが本当に嬉しかったです。また一年という長い様であっという間の一年を元気に過ごしていける様、お気持ちに寄り添い、元気に生活できる様ご支援して行きたいと思います。

野ざきの家も8月で丸5年を迎えます。小さな事業所ですが少しずつ地域の方、同業者の方に認知して頂けるようになってきました。先日、近所の方が「地域で困っていることがあって。すぐそこなんだけど。ここに来れば相談に乗ってくれるって言ってたから。話を聞いて欲しいんだ。」と訪ねて来られました。その瞬間「やっとこうやって地域の方が訪ねて来て下さる事業所になったのか。」と感無量の思いでした。地域、地域と言ってもなかなか双方向の関係を構築するのは並大抵の事ではありません。小さな実践、信頼や実績を積み上げて行かなくてはなりません。色々な形を模索しながら地域の一員として成長していきたいと思っています。

(管理者 齋藤貴彦)



サポートネットあすは

【移動支援・居宅介護事業】

「サポートネットあすは」は移動支援、同行援護、居宅介護、行動援護のヘルパー派遣を行っている事業所です。職員以外の人に支援を委託する、さらに職員の目の届かない場所で支援が行われるというのは、おおぞら会の事業所の中では「サポートネットあすは」だけです。

利用者の方がガイドヘルプを通じて自分の思いややりたいことを実現させることが事業所の役割ですが、ヘルパーが働きやすい環境を作り、ヘルパー活動を長く続けてもらえるよう工夫、努力をすることも同様に大切なことだと考えています。その第一歩として、10年間値上げすることができなかったヘルパー時給を今年度4月より引き上げることにしました。時給面の努力だけでなく、ヘルパーと職員とのコミュニケーションをもっと積極的にとるためにはどうしたら良いかについても、職員間で話し合いを重ねています。日々のガイドヘルプの現場に職員が同行して、ヘルパーが困っていること、感じていることを知る努力をしよう！これが次の目標です。基本的なことではありますが、日々の積み重ねを大切に今年度も取り組んでいきたいと思ひます。(管理者 鷹鷲 綾)

サポートネットあすは主催 ガイドヘルパー養成研修

日時：(講義)平成28年6月4日(土)9:20～16:50／6月11日(土)9:30～19:00

(実習)平成28年6月12日(日)～7月9日(土)のうち1日間

申し込み〆切：平成28年5月20日(金)

受講料：2,500円(含テキスト代・保険代)※別途実習経費(交通費など)がかかります。

お問い合わせ：サポートネットあすは(0422-36-5151)まで

東京都認定の研修修了
資格が取得できます



あすはKids

【放課後等デイサービス】

新年度がスタートしました。この3月に高校3年生12名が卒業されたので、4月より新たに11名の子どもたちに来てもらえるようになりました。初々しい小学1年生から高校生まで、新しいお友だちが増えて賑やかな毎日を送っています。今年度のKidsは“あそび”をとことん追求して、放課後が待ち遠しくなるような居場所づくりを目指していききたいと思ひます！

4月に職員の異動がありました。。。

5年間勤務した土屋に代わって、4月から梅田が職員になりました。みなさまよろしくおねがいします。

土屋よりひとこと。

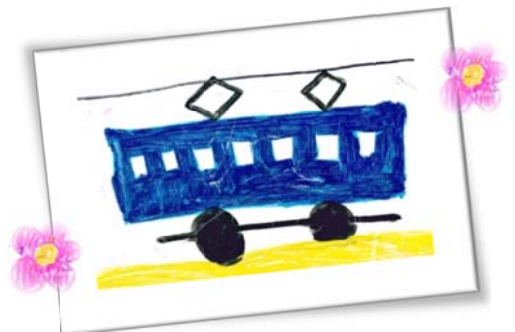
5年間ありがとうございました。

成長する子どもたちの姿を沢山見せて頂きました。自分

の社会人生活の中でも本当に楽しい5年間だったと思ひます。今までありがとうございました。

こんにちは梅田亜希です！

3月まで「アクティビティセンターはばたけ」で働いていました。あすはKidsのみなさんと一緒に、楽しみながら、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思ひますので、よろしくお願いします。





～ 工房 時 ニュース ～

【就労移行・就労継続B型】

働くことの意味を考える

木々の緑が美しい季節になりました。春の風が気持ち良いですね。

さて先日、知的障害、精神障害があり、一般就労している二人の方の話を聞く学習会に参加しました。一日のスケジュール、仕事の内容、通勤、食事のことなど、どれも興味深く、前向きで、元気をもらうことの出来る話ばかりでした。仕事の内容は、お一人は清掃作業、もう一人の方は郵便物の封入やチェックをしているとのことでした。お二人とも、自分の仕事に責任とプライドを持って取り組んでおられることが印象的でした。



発表の後、参加者からお二人に様々な質問がありました。「仕事をする上で大事なことは？」という質問には「速さではなく、正確に行うことが大事」「自分をリフレッシュさせること」「あいさつをすること」「周りの人たちとコミュニケーションをとること」「時間を守ること」といったことを話されていました。「長く仕事を続けるために必要なことは？」という質問には「生活リズムを整える」「体調が悪い時は率直に伝える」「体力作りも大事」「あせらないでしっかり話を聞くこと。コミュニケーションの力を会社は重視している」など、どれも納得させられる話ばかりでした。また「気が進まない仕事をする時の心構え、気持ちの持って行き方は？」という質問には「とにかく会社に行ってしまう。行ってしまえば何とかなる」「とにかく半日でも出てみる」といった答えでした。仕事をする上で大事なことは障害者、健常者といったことは関係ないなあ、と感じました。「働いて良かったと思うことは？」という質問にお一人は「給料やボーナスをもらえることがうれしい」といった後に「自分が社員の働く場所をきれいにしている。社員のためになることをしてあげると、やりがいになる」と話されていました。もう一人の方には「働くということは自分にとってどういうことか？」という質問がされました。「働くということは給料をもらう喜び、給料が上がる喜びがある。有給も使える。上司から後輩に教えることを求められる。仕事を教えることはやりがいがある。楽しいと感じる。自立も考えることが出来る。将来、結婚が出来るかもしれない」と話されていました。仕事をする中で認められ、役割を担うことが責任感や充実感、希望につながっていることがすっきりと理解出来ました。



この学習会に参加して、今の充実感だけではなく、希望や見通しを持つことの大切さを感じました。人は仕事を通して認められることの喜びを知り、役割を持つことで責任感を得、希望を持ち、自己実現を目指す気持ちが芽生えることを再確認しました。

工房時でも、所員一人一人が自分に合った役割を担い、充実感を得、自己実現に向けて歩いて行かれるような活動を目指して行きたいと、改めて考えさせられました。

(管理者 立野信行)

アクティビティセンター はばたけ

【生活介護事業】

「施設の職員」と聞いて、みなさんまず思い浮かべるのは直接利用者に携わる「支援員」ではないでしょうか。支援員は、日中の活動を考えグループを運営し、利用者ひとりひとりの個別支援を担う施設の核になる面々です。しかし、施設は支援員だけでは成り立ちません。今回は、はばたけを担う様々な職種の職員を紹介します。

はばたけにとって欠かせない「送迎車」。ひとりで通うことが難しい利用者の送迎を毎日行っています。送迎車の運行には運転手・添乗員が必要となるため、支援員も事務員も施設長もみんなでローテーションを組んでいます。毎日3台を行き帰りで運行するには、運転・添乗専門で携わってくれる職員の力が欠かせません。(現在6名！)



中には「今まで知的障がいのある方とそんなに関わったことがない」という職員もいて、初めはぎこちなく戸惑われることもありましたが、しかし、「おはよう」から始まり少しずつ関わって関係を築いていき、合言葉で和ませたり、利用者の好きなチラシをこそと忍ばせてきてくれたり、日課の日めくりカレンダーと一緒に変えてくれるなど、ひとりひとりの関わりを大切にしてくれています。不穏で落ち着かない利用者にも動じずやさしく声をかけ、その場から動けなくなった利用者が何を想っているのか一緒に考え、1日2時間程度の短い時間の中でしっかりと利用者の心に寄り添おうとしてくれる姿は、とても心強く安心してお任せできる存在です。

そしてもう2人、調理の最強コンビをご紹介します。“自前給食”は自慢のひとつであり、17年はばたけが守り続けていることのひとつです。作り手のぬくもりが感じられる手作りの食事を囲むことは、食べることの楽しみや大切さを感じ、ほっとできる1日の中で大切な時間です。「今日の給食何ですか？」「おいしいの作るから、お仕事ががんばってよ」…毎朝厨房をのぞきに行く利用者と調理職員の会話は、なんとも微笑ましい光景です。

安くていい食材を求めて、買い物かごいっぱい調達してきてくれたり、「どうしたの今日元気ないじゃん！」と忙しく盛り付けする最中も利用者の様子をみて声をかけたり、いつもみんなのことを考えてくれる2人。行事食のときは、自慢の腕をふるうべく気合十分で時間オーバーしちゃうこともあります。それだけ愛情を込めた給食は格別で、その姿勢に頭が下がります。はばたけの仕事を機に、ガイドヘルパーの資格を取って活躍しているバイタリティーも、最強たる所以です！

このように、はばたけは他にもたくさんの人たちが携わって成り立っています。今回紹介した職員も主婦であったり、自営業の傍らであったり、第2の人生謳歌中であったり、その経歴も年齢もスタンスもそれぞれですが、同じ地域に住む、人生経験も豊かな人たちとのつながりは、何にも代え難いものだと思いますし、いろいろな人の中にあってこそ、バランスの良い施設になるのではないかと思います。(管理者 入倉暁子)



つなぐなかまの家【介護サービス包括型グループホーム】

新たな試みから見てきたもの

つなぐなかまの家では2月から4月にかけて、夜間支援スタッフを迎えての実習を、合計5回に渡り行いました。そのスタッフとは、同法人の野ざき家でアルバイトとして登録しているルーテル大学の三名の学生さん達です。勤務時間は20時から翌朝8時までとして、学校の授業に差し支えない時間帯を設定しました。



同時に朝の時間帯は、とにかくバタバタとして余裕がなく、一日の中でも特にエネルギーを注ぐ時間帯であるため、その時間には職員を配置したほうが良いだろうと考えました。実習の初回時にはそれぞれ夕食会を開き、お互いの自己紹介を兼ねて、団らんの場を設けましたが、すぐに学生さんと打ち解けてしまう入居者の皆さんのコミュニケーション能力は、素晴らしいものでした。初対面でも躊躇することなく自分を表現して、瞬時にして場の空気を明るくすることのできる人たちが私の目の前にいたのです。

これほどの力があるのだから、日常の中ではあらゆる可能性に包まれているのだな、可能性の芽を摘み取ってしまうことだけは決してしたくないし、可能性を広げていく手伝いをしたい、など思うことが数多くありました。

昨今の新聞記事では、自分の素直な気持ちを表現できないために、何か歪んだ感情に支配されてしまい、事件を起こしてしまう人が後を絶たないように感じますが、なかまの家で暮らしている入居者の皆さんを見ると、強さを感じる人が多いです。また、頼りになることも多く、きっとそれは日々の暮らしの中から確実に身につけてきた生きる力のように感じます。私たち職員も追いついていられないように、ともに成長していきたいと考えています。

新しい世話人さんをご紹介します！

平成28年4月1日よりグループホームの常勤職員として、女性の世話人さんが入職されました。高齢者施設で介護スタッフとしてのご経験もある北村さんです。女性ならではのきめ細やかな目線と丁寧な対応、優しい笑顔…それにともない入居者間の中で起こることと言えばただ一つ、それは北村さんの取り扱い…なのでした！？しばらく、大変そう…です。



中央が北村さんです！

(管理者 南川雄造)

おおぞら会後援会ニュース

新緑もまぶしく、夏のような暑さもやってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？
さて、当後援会は5月28日に総会を開催いたします。今後の事業の具体的方策を皆様にご承認いただき、新たな一年を歩んでまいります。後援会員の皆様のお力添えにより、法人運営の大きな支えが生まれます。今後とも、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

また、新年度になりましたので、入会・更新のお手続きも併せてお願いいたします。



社会福祉法人おおぞら会後援会
会長 吉野 壽夫

5/28(土) おおぞら会後援会総会
会場:アクティビティセンターはばたけ
総会 15:00～ 親睦会 16:00～

★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略）

個人73名の方からご入会・ご更新の手続きをいただきました。
ありがとうございました。

★後援会へ寄附（敬称略）

個人6名、法人1社よりご寄附をいただきました。ありがとうございました。

★後援会経由 法人・各事業所へ寄附（敬称略）

個人6名よりご寄附をいただきました。ありがとうございました。

（以上、12/1～3/31 集約分）
皆様 ありがとうございました。

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

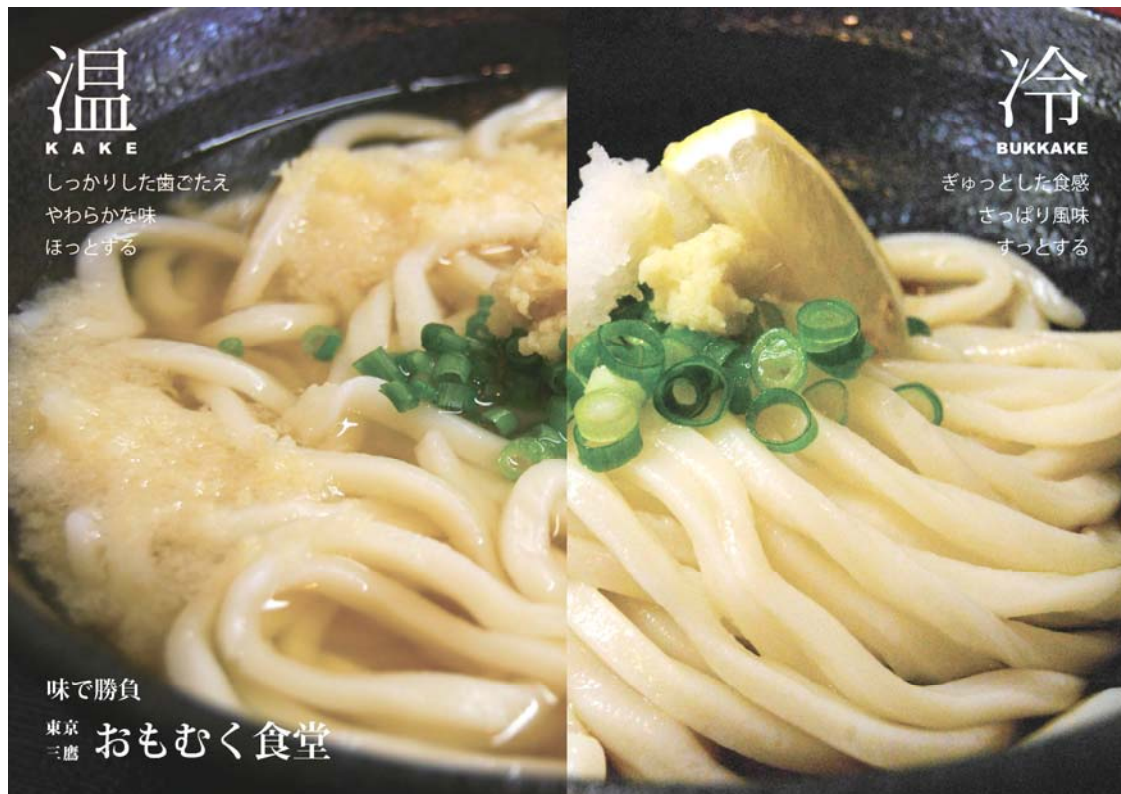
年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

* おおぞら会後援会とは・・・ *

社会福祉法人おおぞら会の理念に賛同し応援する団体です。皆様からいただいた会費は、おおぞら会の各事業や今後展開される事業に対する広報・ボランティア・寄付等、後援会活動に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

information



新メニュー登場！

- ～ から揚げ（3個） 250円
- ～ 深大寺ビール（小瓶） 390円



三鷹市野崎 2-6-41

人見街道「野崎」交差点すぐ

ご賞味くださいませ。

社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|------------------------------------|---------------|------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ （生活介護事業） | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房時 （就労移行事業・就労継続B型） | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野さきの家 （小規模多機能型居宅介護事業） | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは （移動支援[居宅介護]事業） | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids （放課後等デイサービス） | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ ショートステイさくら （短期入所事業） | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |
| ・ つながなかまの家 （共同生活介護） | | |

最近、宮城の友人に会いに行き、ライブを観に行った。響く音が体を突き抜け、日常を離れて異空間が広がる。もちろん聴きながら日常を重ねていると思うのだが、心は軽くなりリセットされる。やっぱりライブはいいなと思った。音楽をやっている人たちは、5年前の震災時「こんな時に歌を歌っていていいのだろうか」とためらったという話を聞いたが、それぞれその人にしかできないことがあるとしたら、そんな時こそ歌い手には歌ってほしい。それで涙を流し笑顔が戻り、明日の活力になるのだとしたら、それは誰にでもできることではない。その人なりの方法でずっとエールを送り続けることが、復興にとって大切なことだと思う。

帰りに海沿いの街で5年前とほとんど変わらない風景を見た。諦めや絶望…そんな風景の中に、それでも前向きな生活がそこにあった。観客席で歌いながら泣いていた男の子が思い浮かんだ。そういう人々の中に、力になる歌がずっと響き続けてほしい。（いりくらあきこ）

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102 【頒価 50円】

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者：入倉暁子